

九月三日（火）

「創作の部オーディション」

始業式の午後、体育館にて文化発表会・創作の部のオーディションがありました。14組の有志がエントリーしています。

西中生は、自分たちがやりたいことや周りの人たちが楽しめるために何が大切かをよく知っています。

自分たちだけが楽しみ、自己満足で終わるのではなく、出場するからには、最高の演技・ダンス・演奏をしようと思って練習を積んでいきます。きっと、夏休みもどこかで集まって練習に励んだことと思います。

一生懸命な姿は、心を動かします。何かに打ち込むその力は、自分のためだけでなく、横にいる人・見ている人のパワーにもなります。

有志発表オーディションを終えて

うおーっ！すっごい！中学生でここまで発表ができるなんて！「きっと、夏休みに一生懸命練習したんだね！よく頑張ったね！」と、全ての有志の人たちに伝えたいです。その上で、やはりアドバイスも伝えたい。**表現力を磨いてください。**歌とかダンスの「形だけを真似」して終わらないでください。観ていてグッとくる発表ってというのは、**ハートが大事なんだ**と僕は思います。「嬉しい！」とか、「楽しい！」音楽が流れると体の奥からわき上がってくる、「わくわくした気持ち！」それらのハートを、もっともっと120%爆発させて、思いっきりの笑顔で発表してほしい！鏡の前で笑顔の練習をしましょう。文化発表会は、**なりたい自分になれるきっかけ。**だからこそ、僕は文化発表会が大好きです。

審査員代表 伊藤真之